

カリキュラム

機施設名：北海道職業能力開発促進センター

実施機関名：株式会社フレックスジャパン

(A) 生産・業務プロセスの改善-バックオフィス	生成AIの活用
新技術活用	

コースのねらい	生成AIの概要とビジネスの現場における、具体的な活用シーン等について理解し、AIと協働することによる業務の質とスピードを高める技術を習得する。
---------	---

指導内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	
指導内容	1 生成AIの概要	(1) 生成AIとは ・AIが今の生活にどのような影響を与えているかを確認し、生成AIについての基礎知識を習得します。 ・どのようなツールが存在するか、役割の違いを知り、AIが我々の生活にどのような影響を与えるかを確認します。	0.5	
		(2) 守るべき倫理・安全性・透明性・責任等 ・AIを活用するにあたり、守るべき倫理・安全性・透明性・責任等について、基本事項を確認します。	0.5	
		(3) AI活用のポイントについて ・思考力、言語化力、構造化力、観察力、語彙力について理解を深め、AIは「自分自身のスペック以上の力を発揮しない」というAI活用の本質について習得します。	1.0	
	2 生成AIの活用事例と今後の展望	(1) プロンプトエンジニアリング(指示文の作成方法)[演習] ・言葉の具体と抽象について理解し指示の重要性を習得します。 ・実際にPCやスマートフォンを触りながらその違いを習得します。 ・デモンストレーションを通じてプロンプトの違いを理解し、目的に応じた指示文の作成方法を身につけます。	1.0	
		(2) Geminiを利用してAIに触れよう[演習] ・基本的なGeminiの活用方法を習得します。 ・Gemを活用したオリジナルAIの作成方法を習得します。 ・Googleの各種ツールと連携し簡単な業務効率化を体感します。 ・受講者が抱える課題をヒアリングし、デモンストレーションを見せながら、Geminiで解決方法を実践してもらいます。	1.0	
		(3) AI活用の点→線→面/AIでここまでできる！事例紹介 ・企業におけるAI活用事例、AI活用での業務フロー改善例を確認し、組織改善へと繋げる方法を習得します。	1.0	
		(4) AI活用の応用/ AIを活用するための考え方[演習] ・役割や用途に応じたAIツールの活用方法を習得します。 ・AI時代に抑えるべき働き方、マインドの切り替え方を確認し、実践するための方策を身につけます。	0.5	
		(5) 今後の展望/ AIとDXをフル活用する個人と組織の在り方 ・AIDX組織について事例を紹介します。 ・人間がやるべきこと、今後必要とされる市場価値が高い人材、求められるスキルについて紹介し、業務に活用するための考え方を身につけます。	0.5	
	合計時間			6.0

カリキュラム作成のポイント	※訓練当日の進行はカリキュラムに記載されている順番と異なる場合があります。 生成AIは手軽に利用できる反面、単なる検索代替としての利用や、リスクへの理解不足が課題となっています。AI活用で重要なのは「AIは自身のスペック以上の力を発揮しない」という本質を理解し、それを操る「人間側の思考力・言語化力」を高めることです。本研修では、操作方法や倫理観の習得に加え、適切な指示出し(プロンプト)により業務フロー全体を改善する視座を養います。AI共存時代において、単なる作業効率化を超えて活躍できる「市場価値の高い人材」となるためのスキルとマインドセットを習得します。
---------------	---